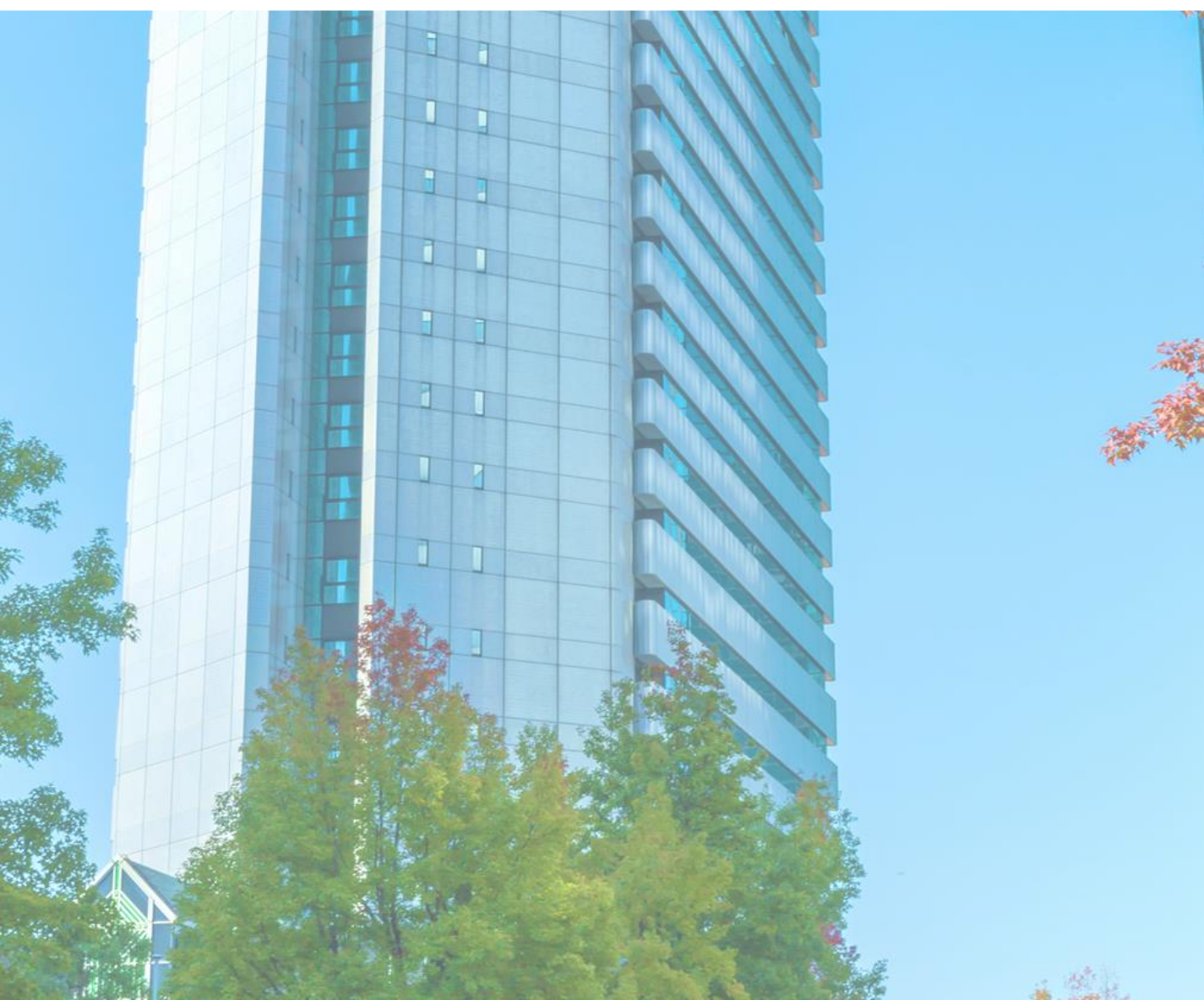




クリヤマグループ

DX推進プロジェクト

---

2024年9月

クリヤマホールディングス株式会社

代表取締役CEO 小貫 成彦

- 0. 概要
- 1. DX計画のロードマップ
- 2. DXビジョン
- 3. ビジネスモデルと戦略
- 4. DX推進体制
- 5. 人財の育成・確保
- 6. IT環境整備とセキュリティ
- 7. プロジェクトの評価・指標
- 8. 施策スケジュール

# 0. 概要



当社は1939年、栗山ゴム商会の商号で創業以来、ゴム製品、樹脂製品を中心とした製品開発、事業開発を推進してまいりました。アジアにおいては建機・農機メーカーのサプライヤーやスポーツ・商業施設等の床材メーカーとして、また海外においては高い品質と豊富な品揃えを強みとする産業用ホースメーカーとして展開し、成長を遂げております。

しかし、ビジネス環境はデジタル技術の進化による急速な変化を続けており、この変化に対応しない企業は競争力を失う危機に直面しています。そうした中で、私たちが掲げる「顧客のニーズをつかみ、持続可能な社会づくりに貢献する会社」というビジョンを実現するためには、事業プロセス、製品、サービスすべてにおいて革新が必要です。

デジタルトランスフォーメーション（DX）は、この革新を推進する柱であり、「データに基づく意思決定」や「顧客ニーズに応える新たな価値の創造」を推進します。まずは内外の業務プロセスのデジタル化を進め、生産性の向上とコスト削減を図ります。また、AI、IoT、クラウド技術など最新のデジタルソリューションを積極的に採用し、新たな製品・サービスの開発に取り組みます。

クリヤマホールディングスは、DX推進プロジェクト略して「DSP」を立ち上げ、全社員がDXの重要性を理解し積極的にプロジェクトへ参加することで、組織全体のデジタルレジリエンスを強化し、未来のビジョンを実現するための道筋を描いてまいります。

# 1. DX計画のロードマップ



## 2. DXビジョン

「デジタルを活用し、真の顧客ニーズをつかみ、持続可能な社会作りの基盤を創る」をビジョンに掲げ、営業分野と生産調達分野において業務の効率化・高度化を志向し、DX人財をベースとした業務改革を推進します。

### クリヤマホールディングス DX ビジョン

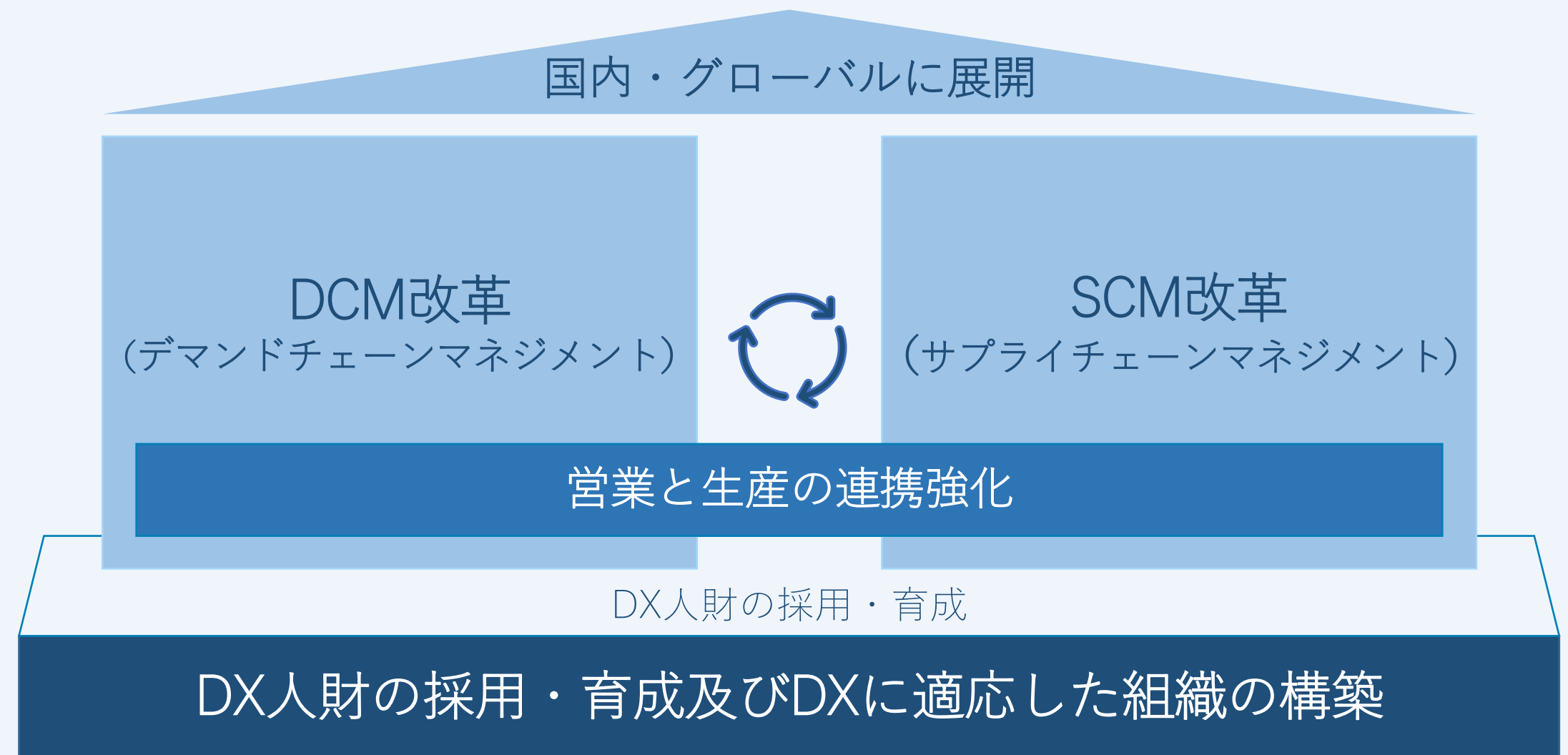
創業85年の伝統で築き上げた信用を  
礎に、変化する顧客ニーズを  
常に捉えること

捉えた顧客ニーズに対して  
常にチャレンジをすること

顧客ニーズと合わせて、  
社会作り（持続可能な社会作り）を  
目指すこと

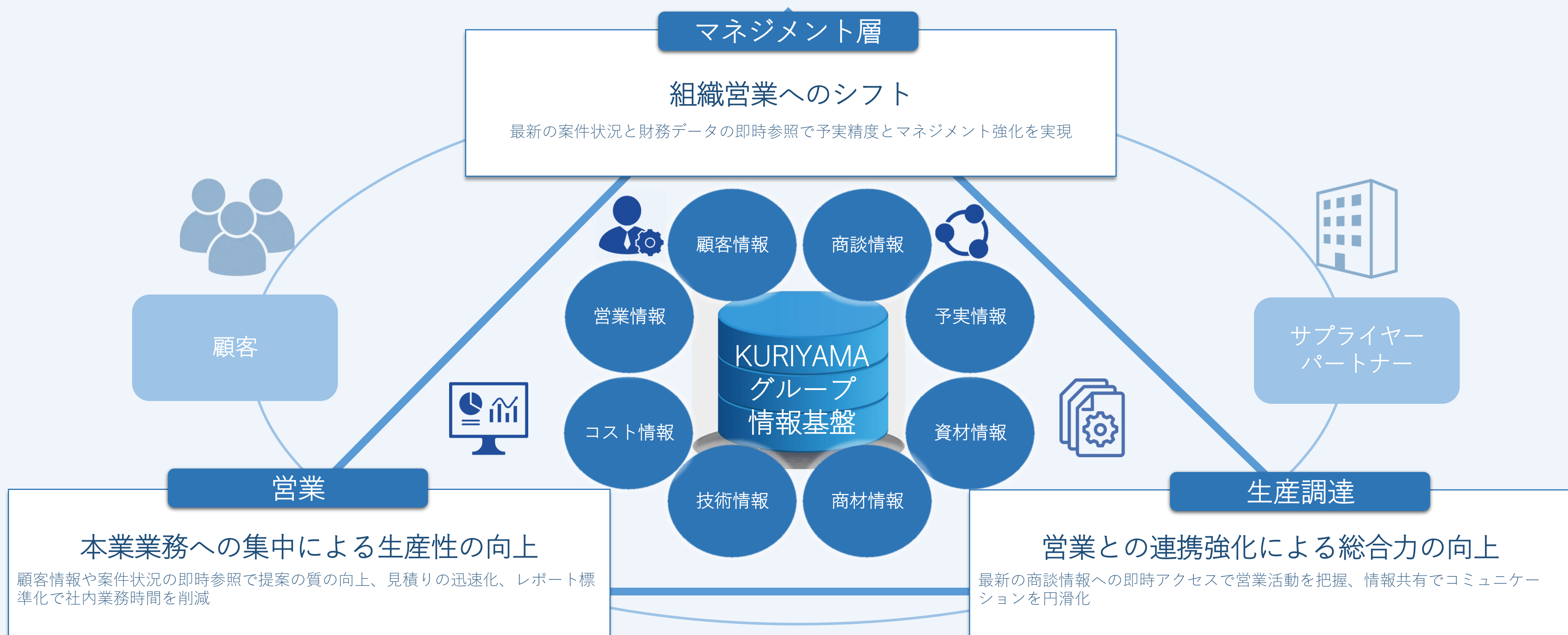
デジタルとの共創により  
上記のような人財を育成し、  
顧客・社会へ価値提供します

デジタルを活用し、  
真の顧客ニーズをつかみ、持続可能な社会作りの基盤を創る



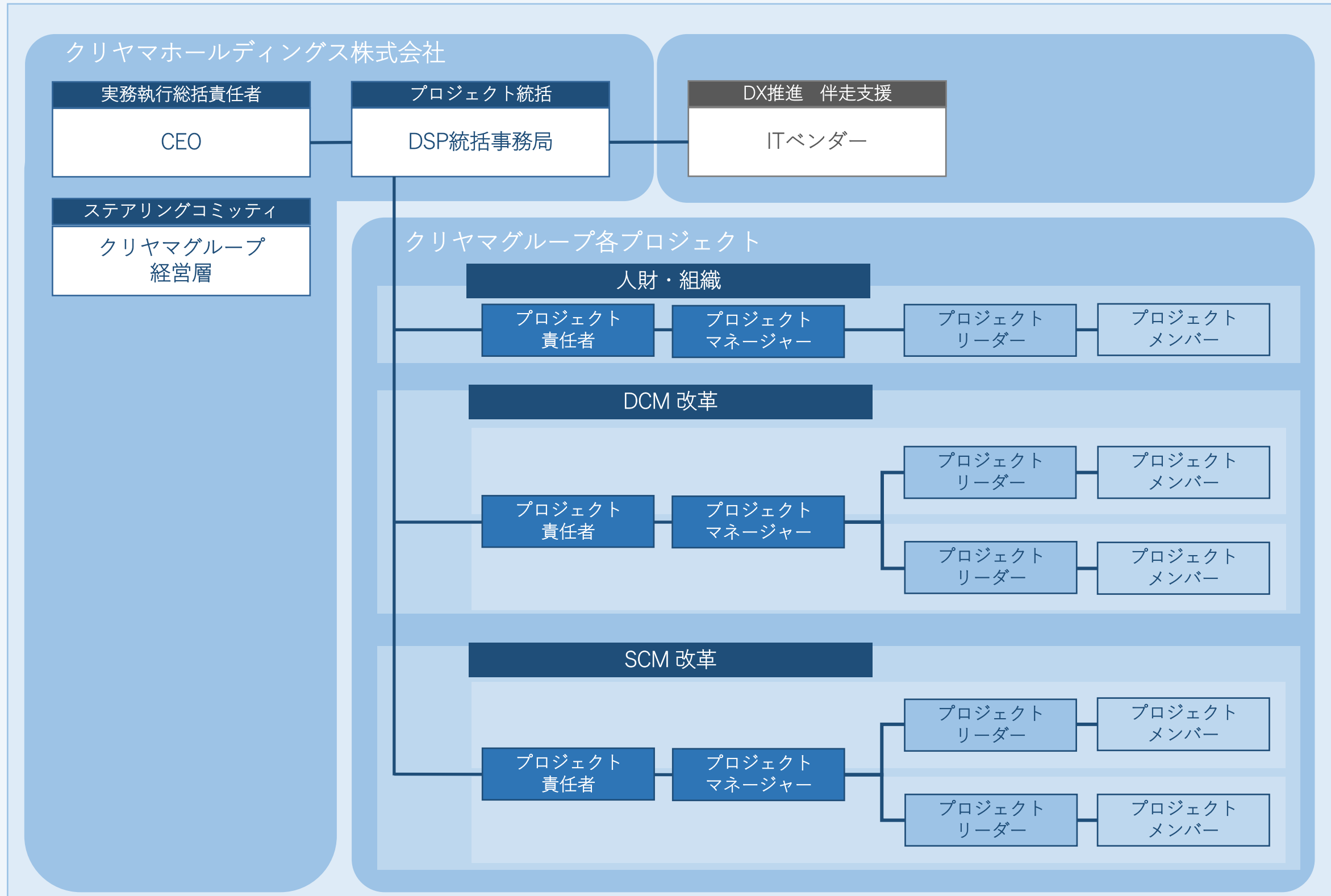
# 3. ビジネスモデルと戦略

データを一元管理し、共有、活用することで、  
より高付加価値な営業提案活動とビジネスモデルの進化を加速してまいります。



# 4. DX推進体制

当社では、CEOを実務執行統括責任者として配置した下記の体制でDX推進に取り組んでまいります。



- DSP事務局は、各DXプロジェクトマネージャーと定期的にプロジェクトの進捗について確認・議論を行い、DX戦略の実施を推進します。
- 各事業部門が主体的にプロジェクトに参加できるよう分野部門ごとに責任者、マネージャーを配置し、参加メンバーのアイデアを採用しやすい体制を整えています。
- 社内の体制に加え、ITベンダーとの連携を行うことで、社外のノウハウを取り込みプロジェクトを円滑に進めます。

# 5. 人財の育成・確保

## DX推進に必要な人財の定義

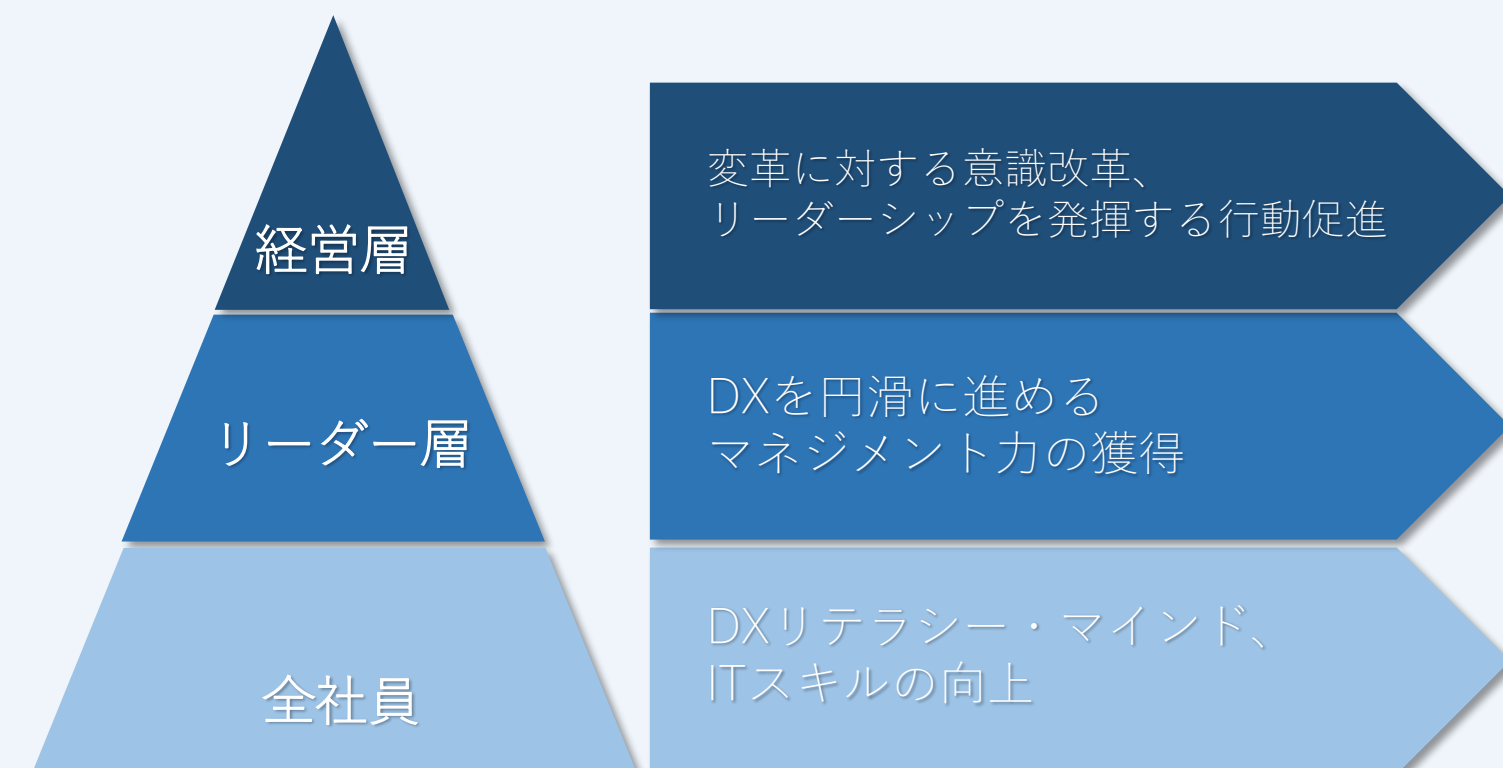
事業や業務内容に精通し、デジタルで何ができるかを理解している人財  
高度なITスキルを持ち、技術に精通した人財

当社では上記のDX人財のうち、特に「事業や業務内容に精通し、デジタルで何ができるかを理解している人財」の確保が必要と考え、グループ全体のデジタルリテラシーを底上げする環境整備を実施いたします。

## クリヤマグループのDX人財育成・確保

- すべての社員を対象にした、対面・eラーニング研修の実施  
ex) DXの知識・考え方、DXで活用されるデジタル技術、DX事例 等
- 生成AIやMicrosoft365などを活用した業務効率化セミナーの実施
- DX推進メンバーとして選抜した人財への応用研修の実施  
ex) デザイン思考習得、問題解決力強化 等
- 経営層向け研修、リーダー層向け研修の実施

## ▼ 人財育成・確保の結果として期待される効果



# 6. IT環境整備とセキュリティ

## 1. IT環境整備

### クリヤマ情報基盤構築を中心としたIT環境整備

グループ各社の基幹システムなどの情報をクリヤマグループ情報基盤へ連携してデータの一元管理と利便性の向上を図ります。将来リプレースを迎える各社の基幹システムや周辺システムは、クリヤマグループ情報基盤や導入したDX施策と高い連携性のあるシステムの構築を方針とします。

## 2. コンプライアンスの遵守

当社では「あらゆる法令、規則の遵守」にとどまらず、社会規範に即した誠実かつ透明性の高い企業活動を展開します。

## 3. セキュリティリスクへの対策

情報セキュリティ基本方針を遵守するとともに、下記の取り組みを行うことで、グループとしての「セキュリティリスクの最小化」に努めます。

- グループ全体の従業員を対象としたセキュリティ教育訓練
- グループ規則規程、情報セキュリティ基本方針整備によるセキュリティ標準化の推進
- 社内コンピュータに対する24時間365日体制のセキュリティ監視／インシデント発生時の連絡体制強化
- サイバーリスク保険への加入
- 外部機関による定期的なサイバーリスク調査の実施

# 7. プロジェクトの評価・指標

D<sub>o</sub>

P<sub>lan</sub>

C<sub>heck</sub>

各施策に設定された成果目標に対して、定期的なレビューを通じて進捗状況を確認し、必要に応じて方針や施策レベルでの見直しを行います。

## 各事業部門・グループ会社

### DX施策推進／目標値設定

#### 【管理指標】

- ・DX人財およびデータ活用人財の育成
- ・営業・生産調達のデータ共有によるコミュニケーションコストの削減
- ・デジタルソリューション導入による生産性向上

#### 人財育成

- ・DX講習会
- ・Eラーニング

#### 営業

- ・DCM改革

#### 生産調達

- ・SCM改革

#### その他

- ・先端技術活用
- ・IT環境整備

目標値再設定

## DSP統括事務局

各施策進捗管理  
課題管理  
目標値達成確認  
予算管理

レビュー結果まとめ  
フィードバック

## CEO・経営層

投資意思決定  
DX推進状況レビュー  
フィードバック

A<sub>ction</sub>

各領域において、中長期的に以下のデジタル施策を推進します。進捗状況については、定期的に発信する予定をしております。

